

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
地域観光論				谷口 知弘	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	1年次	講義	無	科目等履修・聴講
授業の概要(Course Description)					
<p>地域社会は、少子高齢化や過疎化、ソーシャル・キャピタルの減退などによる住民自治機能の低下によって、従来担ってきた防災や教育、福祉、文化の継承など、様々な「まちづくり」活動の停滞や破綻の危機に直面している。</p> <p>本講義「観光まちづくり論」では、これらの地域社会の問題解決の糸口を「観光」の視点を活かした「まちづくり」に求め、その理論と手法を実践の系譜と展開から講究する。</p> <p>尚、授業の進め方として、観光まちづくりの最前線で活躍するキーパーソンをゲストに招き、実践者との対話から検討するとともに、先進事例に関する受講者の報告をもとに討論する時間を設けることとする。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>①「観光」視点から取り組む持続可能なまちづくりの理論と手法を理解する。</p> <p>②京都府北部地域における観光まちづくりの現状を把握し、課題と展望を議論することができる。</p> <p>③地域資源を活用した観光まちづくりの新たな事業提案ができる。</p>					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	導入：本講義の目的とプロセス ワークショップ「『観光』とは？自身の経験から考えよう」				
第 2 回	第1部 「観光まちづくり」とは ①まちづくりの系譜と展開				
第 3 回	②観光まちづくりの系譜と展開				
第 4 回	③理解を深めるワークショップ「観光×まちづくりの魅力と課題」				
第 5 回	第2部 地域社会の課題と観光まちづくり ①教育・文化と観光まちづくり				
第 6 回	②農業と観光まちづくり				
第 7 回	③健康と観光まちづくり				
第 8 回	④住民自治と観光まちづくり				
第 9 回	⑤理解を深めるワークショップ「地域社会の課題と観光まちづくりを考える」				
第 10 回	第3部 北近畿における観光まちづくりの取り組み ①行政施策と観光まちづくり～福知山市の観光政策とまちづくり				
第 11 回	②産学公民協働の観光まちづくり～プラットフォームとしての「海の京都DMO」				
第 12 回	③市民活動と観光まちづくり～手づくり市による地域活性化				
第 13 回	④企業活動と観光まちづくり～ゲストハウスを起点とした地域活性化				
第 14 回	⑤理解を深めるワークショップ「北近畿の地域資源を活用した観光まちづくり」				
第 15 回	まとめのワークショップ「観光まちづくりの課題と展望を語ろう」				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<p>予習：各回のテーマについて、文献やインターネットによる調査、自身の関心を整理するなどあらかじめ学習しておくこと。</p> <p>復習：講義で得た気づきや成果をレポートにまとめること。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
クラスへの貢献 (50%) 期末レポート (50%)	秀：適切な課題を設定し、独創的且つ実現性の高い課題解決策を提示できている。 優：適切な課題を設定し、すぐれた課題解決策を提示できている。 良：課題を設定し、一応の課題解決策を提示できている 可：課題設定と解決策の提示が、いずれも最低限の水準を満たしている。 不可：課題設定や解決策の提示が水準に達していない。
テキスト (Textbook)	特になし
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	講義で配布するレジユメで指示する
備考 (Other Information)	・3分の1以上（6回以上）の欠席は、単位不可とする
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	taniguchi-tomohiro@fukuchiyama.ac.jp（谷口）